



「されど、人間臭くあれ」



働くおおダシ検定

公式テキスト&人生の問題集

就職編



されど、人間臭くあれ。

「人間に生まれた意味って、考えたことある？」
「…いや先輩、唐突ですね。笑」
「なんとなくね、その”意味”ってやつが、
なかなかどうして濃くなってきてる感じ、するんだよね。」

— 上司と部下 深夜2時、いつものスナック —

欲しいものはなんだってある。
無駄なものは排除され、便利で暮らしやすい環境。
だけどなんだろうな、ふつつつ湧きあがるこの違和感は。

経験価値を置き去りにして、薄まっていく感情。
進むIT技術、合理化、効率化…。

『近い将来AIに半分が代替される労働市場。』
ネットに量産される情報は、
危機感を煽るばかりで実にセンスがない。

やたらと合理化された世界って実は、
『人間は人間にしかできないことに集中できる世界。』
この本質が、どれだけの人に届いているだろう。
自分の意志や感情が価値になる、
最高におもしろい時代が到来してる。

あなたのおダシは、どこにある？

私たちは知らぬ間に、一日約35000回自己決定しているらしい。
なるほど人生十人十色に仕上がるわけだ。

自分らしさを知りながら、意志を持って選択し続ける人
自分らしさを知らぬ間に、なんとなくの選択を続ける人
悲しい哉、幸福格差は広がりつつある。

自己理解は間違っても就活だけのものじゃない。
幾度ある目の前の選択を、より自分らしく選ぶための芯、
人生の幸福度をあげるためのコア。

ここで出会えたのも何かのご縁。
まずは、やってみて欲しい。
あなたのおダシを引き出すドリル。
幸せのきっかけに、なりますように！

働く幸せを感じるカッコいい大人を増やす！ 企業や地域のおダシ屋さん



- ・インビジョン株式会社
- ・中目黒にて設立してから13期目

好きなこと/偏愛

人は好きなことを語る時に、一番エネルギーがでて、おダシが輝く。「できるできないに関係なく、ある分野に興味を持っているという時点で、あなたにはそれをやる道が用意されている」そんな言葉もある。あなたの心が無条件にワクワクすることは何だろうか。

【第1問】:あなたの偏愛を3つ挙げよ。

1 お祭り



世界の文化っていろいろあるけど、日本の昔から象徴的な地元のイベントって言えば、お祭り。皆子供の時には参加するのに、徐々に参加しなくなっていきますよね。けどお祭りって、ただワイワイ楽しむだけじゃなくて、このコミュニティに入ってる！っていう帰属意識の象徴だとも思うんです。

そんで、お祭りってスーパーポジティブ。働くかっこいい大人のコミュニティづくりがしたい私たち。仕事とか会社っていう存在を、お祭りみたいなコミュニティに変換したい！

仕事を、お祭りに行くとか居酒屋に行くとか、皆でお祭りをやるぞ～！みたいな、そういう感覚でできたら最高じゃない？

2 和



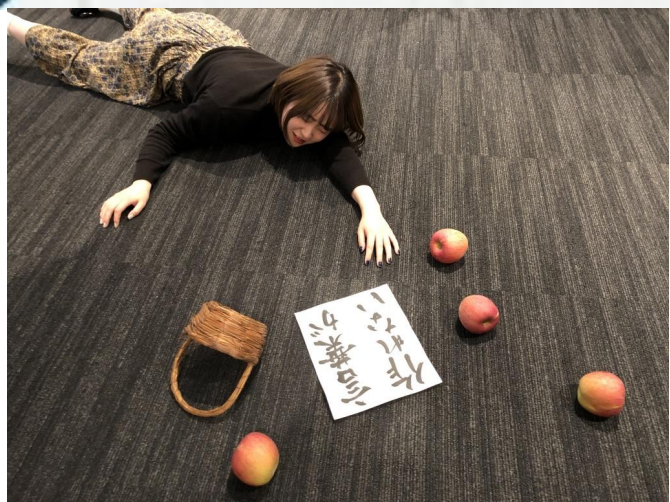
どんどんグローバル化していく世の中。そんな中で、日本らしさって何？って時に、答えは「和」だと思うんです。

何百年も前から残っている風情ある和の心。江戸時代で何百年も争いがなかったように、戦争を通して学んだように、平和を重んじる和の心。日本はそんな個性ある文化が残ってて、物質的にも豊かな国。なのに、国民の幸福度指数は低い。

日本のパフォーマンスって、まだまだこんなもんじゃないと思うんです。身近ないいものに気づいてないだけ。お祭りもそうだけど、自分たちのカルチャーを知って、自分のらしさを知って、心も豊かになれば、もっと住みやすい国になるはず。

日本らしさを出していくのがビジネスの経済発展に繋がるはず！

3 人間ってやつは



人間ってやつは、本当に面白い。

聞くとところによると、人間の本质は怠惰らしい。日々を楽に過ごしたい、ほどほどでいいかななんて思っちゃったりする一方で、何かを成し遂げたいとかこんな自分で在りたいって想いをふつつつさせて、行動して成長を喜ぶ生き物。

人間ってやつは、いつも真っ直ぐ進めるわけじゃなくて、チームづくりも一筋縄ではいかない。アチャーってなる時もあるけど、人の関わりや自己対話を通してより良い人生を歩もうとする姿とか、なんだかんだ違う人間同士が紡ぎあって一枚岩になる姿が、やっぱりいいなあって思うんです。

【第2問】もしお金の心配がなく、どんなことでも仕事にできるとしたら
仕事にしてみたい？

何を

できるできないの判断は一旦消し去ろう。



文部科学省の大臣

一律教育からの卒業。教育改革を超音速で推進して、若者の未来を明るく照らす。
近年よく個性が大事だと言われるけど、世間のいう「個性」に違和感があります。
個性を出していかないと生きていけないとかマスコミは言うけど、じゃあ実際教育現場はど
うかって時に、戦後から続く均一教育。もはや携わっている教育者の人たちが一番ズレて
る。このままじゃ、子どもたちが肉体的にも精神的にも死ぬ。若者に標準装備しておいて
欲しいものが欠け続けるばかり。
そのまんま日本の教育システムをまるっと変えたい。最速ギネス狙う感じでロードマップを
引いて、邪魔してる法を全て変える(超温速です)。
そんで、省庁の改革ギネス狙います。笑



|| 得意なこと/強み ||

得意なこととは、あなたの持つ才能。磨けばいろんな可能性が広がる。
世の中の人々が自分の才能を理解し、活かせたとしたら、この社会はどんな風になるだろう？
無意識に自然とできること、後天的に身につけたスキルや知識など、あなたの強みを言語化してみよう。

【第3問】:あなたの自慢ポイントを具体的な経験も合わせて 3つ考えてみよう

1 唯一無二のブランド力！身も心もおダシ屋さん



2020年リブランディングを経て、“おダシ屋”としてのブランドが確立。「なんか面白そうだけど、結局何屋さんなの？」と言われた時代もあったけど、今は胸をはって自分たちのらしさを語れます。
もちろん、おダシ屋ですってただ名乗ってるだけじゃありません。オフィスもおダシ屋仕様だし、営業もハッピーで商談してます(これがおダシ屋の正装)笑。日々社内で聞くワードランキング位は「おダシ」だし、採用広報でもどの企業より赤裸々にアウトプット。無添加のらしさをアウトプットしつつ、相手のらしさを大事にする文化も根付いているので、自然とお付き合いしたい人と両思いになります(有難いことです)。まだまだ伸び代はありますが、この唯一無二の世界観は間違いなくインビジョンの自慢ポイント！

2 志を抱くおダシな同志たち



インビジョンは、おダシを大事に、火種(志)を炎にする会社。社内にもおダシまじまじの濃い～人らがいっぱいいます。結構会社って、似た性格タイプの人たちが集まりがちだけど、ここは動物園か？ってな感じで360°面白いくらいバラバラ。笑
「ただひたすらいいチームを作りたい！」「生きづらい人の心をほぐしたい！」「日本をもっと強くしたい！」などなど、それぞれ中身は違えど断固たる志を持って人が多いです。(コーポレートサイトのメンバー紹介ページを見てみてね)
性格タイプや個人の志は違って、「働くカッコいい大人を増やす」という向かう方向性は同じ。これだからチームって面白い。

3 本質的な人のつながりを大事にする ガチンコほっこり文化



「本質的な人のつながり」というキーワードも社内では頻出ワード。おダシを大事にする私たちが好きじゃないのは「Theテンプレ回答」。取り繕ってもおダシは出ないし、本質的なつながりもできません。これは採用、お客さん、友達や家族、恋人など、どんな時でもそう。大事なお客さんだからこそ、それじゃダメなんですって本気でぶつかることもあります。お客さんと飲みに行く時には栄養ドリンクを持って行ったり、感謝を伝えるサプライズ動画を作ったり、結婚したと聞いたならお花や色紙を持って行ったり。社内でもメンバー同士ぶつかる場面も時々あるけど、これも大人の青春の一ページ。「徳田屋」というグループチャットで称賛の言葉が当たり前飛び交う日常とか、オンリーワンの表彰状なんかもそうだけど、インビジョンってつくづく人のつながりを大事にしてる会社だよな～って思う今日この頃。

【第4問】: 苦手なことは？3つ答えよう。 それを裏側から見るとどんな長所が変わる？

1 おダシ屋としての体現力足りない！

おダシ屋としてのブランドを確立したインビジョンですが、まだその世界観を営業戦略やマーケティング戦略に落とし込めていなかったり、営業トークやクリエイティブで伝わるようにアウトプットできなかったり、インビジョンの世界観が語れても、自分のおダシが語れなかったりします。

あと、ビジョンにダイレクトに関わってくる、インビジョンがやりたい教育分野に対してリソースがあまりさけていません。もっと世界観を活かした戦略の立案や、個人個人のおダシ理解とアウトプット力を伸ばしていきたいところ。

世界観に本気でこだわってる証拠！
なんとなく「それっぽくなってたら OK」
みたいな薄〜いカルピスはノーセンキュー。おダシの体現に悩む場面もあるかもだけど、「らしさ」に向き合う機会は人生の糧になるはず。

2 マネジメントのための仕組みがない！

これが一番比重の大きい課題です。
現在のインビジョンは一言で言えば「よしなにマネジメント」。ルール縛りみたいな社風は嫌だけど、マネジメントに関しては規模的にもここで限界っぽい。
それぞれのやり方で自由になんとかやっちゃってきたもんだから、人によっては承認過多で寄り添いすぎてたり、俺の背中をみろってある種の責任放棄になっちゃったり、指示や共有が抽象的で曖昧だったり。

組織力=ルール×数学的マネジメント×おダシだとして、今インビジョンに必要なのはマネジメントルールの仕組み化と指標の数値化。上に立つ者としてのルールを明文化して、それを踏襲しながら数字に基づいて会話できるマネージャー・リーダー陣を増やしたい！ ...ということで、2021年人事筆頭にこの仕組みを整えていきます。
きっとルール明文化後の推進に大きな壁があると思うので、「船に乗るより漕ぐ人」と一緒にチームを推進して欲しい！

シンプルに、インビジョンという会社のマネジメントの”土台”を作るフェーズだって考えたら楽しくないですか？
自分の推進力次第で、チームが一枚岩になっていく過程をリアルタイムで体感できます。

3 若手の育成今一步！

マネジメント力の弱さに加えて、受け入れや研修制度・体制がまだ充実しきれておらず、戦力化まで時間がかかってしまってます。全社的に課題特定力やクリティカルシンキング力をもっとあげたい。特に営業メンバーはここに伸び代があるので、なかなか目標達成ができないメンバーもいる状況。能力開発系の仕組みも整ってないので、キャリアやステップアップに悩む場面も多いです。

この能力開発は、2021年人事が注力して整える予定なので伸び代たっぷり！表面的なスキルアップじゃなくて、本質的に働く幸せを感じるための能力開発の仕組みを作っていく気満々です。

一人一人の影響力が強大！
研修や能力開発の仕組みが整ってないからこそ、一人一人の知識やノウハウ、スタンスが大きな影響力を持ちます。自らの学びを横展開して社内貢献の実感を得れる場面も多いはず！

大切にしていること/価値観

価値観とは、自分の人生の中で大事にして生きていきたいこと、優先する考え方のことだ。自分の中のこだわり、マイルール、自分的べき論とも言える。これが明確になると、物事を選択する時の指針になる。社会の「こうしなさい」に惑わされることなく、自分の選択基準を磨くためにも、あなたが今までの人生を通して形作ってきた価値観を言語化してみよう。

**【第5問】:今の自分に一番大きな影響を与えている経験は？
3つ考えてみよう。**

1

「誠吾、シゴトって面白いぞ！」父親からの洗脳



(インビジョン代表の吉田が答えます)

元々、自分の父親が44期目のエンタメ会社をやって、「誠吾、仕事って面白いぞ。俺の会社は継がせない。お前は自分の会社をやれ」って、ことあるごとに言われていた。バブルの頃、父親の持ってた店の料理長が逃げて、続けるか否かのピンチの時に、クッソー！って言いながらなんか楽しそうな父親に、その店のカニを食わされたのを覚えている。「あー、これダメだったか〜」みたいな父親の姿をずっと近くでみてきて、働くって面白いものなんだと心底思った。

どんな価値観が生まれたか？↓

#仕事って面白いぞ。

2

人生3度の臨死体験



実は、自分は三回死にかけたことがある。

一回目は21歳。地元の友達と伊豆白浜にサーフィンに行き、大量の大雨。天城トンネル付近で道が陥没して、崖から落ちそうになった。

二回目は27歳。誰かの歓迎会で深夜までメシも食わずに仕事した後駆けつけた。ちょっと飲んで始発で帰ろうとしたら、気づいたらホームに落ちてたらしく、都立病院で点滴打たれた。

三回目は34歳。お客さんの新人研修をアウトソースで受けてた4月の1週目くらいに腸の血管が破裂。20代の働き方のツケだ。救急車をよんで、その後ヶ月入院した。

三回目で、ああ自分は生かされたんだなと気づいた。初めて自分の人生を線でみた。人には何かしらのミッションがある。ここまで来て、やっと自分の人生のテーマを考えた。病室の中で、それが言語化された。

どんな価値観が生まれたか？↓

#働く幸せを感じるかつこいい大人を増やす

3

社会人教育の限界



社会人時代、育成に関わる人たちの中で、「もう間に合わねえよ」って語りながら、中学校の塾講師をやり出した人がいた。弱体化した社会人。逆算して自らの計画も立てられない。そもそもの自分の人生という時間割を作ったことがない。人生を楽しむアイテムを取得できないまま社会人になってしまっている。それは今まで体験と学びが足りずただ無知なだけなのだが、そんな彼らの育成は難しく、大人になってからでは限界がある。もっと子どもの頃から、体験を重ね、自分を知り、学習する必要がある。このままの教育では、子どもたちは同じように弱体化してしまうだろう。それだけは絶対にさせない。

どんな価値観が生まれたか？↓

#教育を変えたい

【第6問】: 自分が死んだ後に周りの人にどんな人だったと言われたいか？

ずっと生きている

インビジョンはずっと生きているはずだ。
私たちは、100年以上続くチームをダシ活メソッドで磨き上げる。

だが仮に死ぬとするのなら、「同志だった」と、同志が亡くなった感覚になってもらいたい。
結局死ぬまで関わり合っていくのは、志に共感して一緒に社会を良くしていきたい改革派の同志たちだと思うのだ。

|| 人との関わり ||

あなたのおダシは、他の誰かがいることで初めて輝くものです。
その違いがあるからこそ、葛藤があり、学びがあり、支え合える。だから人間って面白い。
生きるも働くも、どんな時でも人との関わりは必要不可欠だ。
人との関わりの中で、あなたはどんな人なのか考えてみよう。より自分理解が深まるはずだ。

**【第7問】: 複数の人と関わる時、あなたはどんなポジションか？
また、それはなぜだと思うか？**



圧倒的「おダシ屋」でしかない。笑

世界で一番「おダシ」って言ってるんじゃないかな。(インビジョン発祥の言葉なんだからそりゃそうだ)
お客さんやパートナーさんなんかと話す時も、最初に「え？おダシ？(困惑)」って最初はなるけど、意味を知ったら「秀逸だな〜」っておダシファンになってくれます。笑
よく世間でも「自分らしさって大事だよな」というけど、どれだけそれについて深く考えて言ってるんだらうと思うこともあります。何事もそうだけど、中身空っぽの言葉は人の心を動かしません。
インビジョンは、「狂育(=ちゃんとしなさい)連鎖」のある社会、実態のない世間的な正解への義憤から始まり、そのアクを取り除けばその人の持つおダシが出て、幸せを感じるかっこいい大人になれるんだと、人間の力を信じてる会社です。人間臭いらしさが大事だって、本気で言ってます。
私たちが人の心を動かせるのは、「おダシ」に対して本気の信念を持ってるからかなと。
そういうわけで、誰より「らしさ」をキーにした本質的な人の幸せを考えてる圧倒的おダシ屋なわけです。

【第8問】: 人と関わる上での、自分のgoodとmoreは？

Good(箇条書きで)

- ・おダシ屋という唯一無二の存在
- ・インビジョンオリジナルのダシ活メソッド展開
- ・取り繕わずに腹をわるおダシ採用のロールモデル
- ・採用領域で超温速の伴走により高い価値提供
- ・採用にとどまらない企業ブランディング
- ・全失連や高校生起業家PJなどのオリジナル企画

More(箇条書きで)

- ・おダシ屋の世界観を業務レベルまで浸透できてない
- ・まだまだ会社やサービスの認知が甘い
- ・影響を及ぼす規模がまだ小さい
- ・自社プロダクトそのものの強みを要アップデート
- ・教育事業に注力できていない

|| 志 ||

志とは、心のエネルギーが向かうところ。つまり夢や信念のこと。
志は、【好きなこと】、【得意なこと】、【価値観】、【人との関わり】を
掛け合わせることで言語化しやすくなるとも言われる。
インビジョンは、火種(=志)を炎にする会社。
一人一人の志が、より良い社会をつくっていく。
あなたはどのようなアツい火種を持っているのだろうか。

【第9問】:あなたの成し遂げたい夢、もしくは譲れない信念はなにか？



働く幸せを感じる、カッコいい大人を増やす



“アク”を取れば、誰だっておダシ出る。それが人間一
見品良く、淡々とおこなわれていく世界。
他人の決めた時間割で生き、タスクを無表情でこなしていく。
そんな大人たちに、いまいち心を揺さぶられない。
これは今にはじまったことではない。
本質を見失い、意味も考えずに、とりあえず“ちゃんとしなさい”と言う狂った教育。
親から子、その子どもに連鎖。生きた道徳観、倫理観が徐々に薄まっていく。
インビジョンが向き合っているもの、それは「狂育(=ちゃんとしなさい)連鎖」のある
社会そのものだ。現在の狂育連鎖は、自分の人生の足を引っ張るダサい固定観念
(=アク)だらけにして、人間を底無し沼のようにズブズブに沈めようとしている。
だけど私たちは、信じています。アクの正体を知り、アク取りすれば、誰だっ
て自分の体の中心から湧き上がってくる自然な想い、人間臭い魅力的な「おダシ」
を出せることを。
現実世界を泥臭く生きて、浴びて、その中で己の感情をグラグラさせられた体
験。お祭りのような心臓の鼓動を感じる瞬間が、人間を成長へともう一踏ん張り
させるスイッチになる。
志に共感する本質的な人のつながり、コミュニティ作りを全力で応援したい。
いつも、どんな仕事でもみずみずしく、「仕事って面白いぞ」を、大人にも、
子供にも感染させる、働くカッコいい大人を増やしていく。
これが揺るぎないインビジョンの志。(※コーポレートサイト「志」より)

|| 周りの大人からのギフト ||

自分のおダシを理解し語る上では、他者からの言葉も欠かせない。
自分の当たり前は、自分では気づけないからだ。
なかなか周りの大人に評価してもらえないと思うので、
この機会にあなたの良さに関して言葉をもらってみよう。
必ずあなたの中に残り続けるギフトになるはずだ。

第10問:周りの大人3人からのあなたへの賞賛の言葉をもらってみよう。



西日本新聞社さま

自分たちの会社以外(お客さん・弊社のような取引企業)のことを、自分たちの会社であるかのように考え接してくれるところ。

…営業なのでどうしても売上や成約数が気になってしまって(当然ですが)無理やりなんとか成約させたい…と思ってしまいがちでした。ですが、インビジョンさんは「本当に相手のためになるか」「何故こうの方がいいと思うか」ということを常に突き詰めてらっしゃるので、日々忘れてしまいがちな成約の先にあるもの=お客さんの儲けや効果改善を前提にされているところは非常に参考にさせてもらっています。

それほど真摯にお客さんに対応する理由の一つとして、求人広告は、普通の商品やイベント、サービスを売るような広告とは少し違って「職」という一人の人生をより大きく左右してしまうコトを扱っているからなのかな、と思います。
業界の厳しさ、難しさ、面白さを知っているから、自分たちと同等に、時にそれ以上にお客さんのために考えて働きかけている、そんな感じがします。
自分ももっともっと経験を積んで、インビジョンさんのように、よりお客さんのためにベストな提案ができるようになりたい…そう思って頑張っています！

あと、何より社員さん一人一人がばりアツかですね！
毎度毎度夜ご一緒させていただく度に色々な熱さをぶつけてもらって、仕事でもお酒でも毎回ホントにえげつない刺激をいただいています！
旧態依然とした新聞社に対していつも真正面からぶつかっていただき、本当に感謝しています。



Miコーポレート株式会社さま

インビジョンさんは企業と取引しているというよりは、パートナーとして一緒に動いているという感覚の方が強いですね！

採用や組織ブランディングで複数の方と一緒に動いているのですが、一人一人の個性や独自性がしっかりあり、でも、遊び心を忘れない企業文化もしっかりと伝わってくる、そこがいい企業なんだなあと感じます。
一緒に働いていて、ワクワクしますし、こちら側の企業体質をしっかりと把握しながら、後ろ向きなことも、前向きに変化させてくれる！これがいつも新しいことにチャレンジしたいと思えるきっかけになります。こういった事って簡単にできる事じゃないですよ！

私は取引をする時は、どこ(企業)と仕事をするかではなく、誰(個人)と仕事をするかを基準に判断してます。インビジョンさんであればどの人とでも仕事したいなと思えるのがすごいです(現担当が一番ですが)w



某リーディングカンパニーさま

おダシですよ、本当おダシが大事だと思う。
リニューアルしたサイト見て、久しぶりに飲みたくなったんですね。インビジョンさんは、当事者なんです。人事について本当に考えてる当事者。

一般的なHR業者は、すぐコンピテンシーがどうかというけど、そんなのはネットで調べれば、本読んでれば、分かるんですよ。その中で紆余曲折ある人間模様の試行錯誤とか、つまづくポイントとか、それに対するソリューションとか、そういう一次情報を知ってるのがインビジョン。本当に良いものを熟考して知ってるから、私がやりたいことも平気で断ってくる。逆に私が断ってもやった方が良くと思うことはめげずにずっと提案してくる。1年たって、なるほどやった方が良くないとか私が遅れて理解する場合もある。当事者なんですよね。うちに関わってくれたインビジョンの全社員が、そう。それがまたすごい。

検定は以上で終わりだ。長い旅をお疲れ様！
やる前と後で、一体あなたにどんな変化があっただろうか。

おダシに”正解”はない。

そして、おダシはこれからも深まっていくものだ。
より旨いおダシを出すには、行動し自分と向き合い続けること。
今後も自己理解を深め続けて、あなただけのおダシを探求して欲しい。

この検定は、きっとこれからもあなたの資産になるはず。
人生を自分で選択し、あなたがどうか幸せで在りますよう。

「先輩、この前の話なんですけど。
先輩の言ってた意味、わかってきた気がするんです。
…なんか、考えてみたら、人生楽しくなってきました。笑」
「お前、やるなあ。こりゃあ、今日も一杯いっとくか？」
— 上司と部下 仕事終わりのオフィス—

